



第25号

令和5年6月

KYOUSEI DAYORI

-きょうせいだより-

矯正を知ろう！再犯防止をもっと身近に！

CONTENTS

- ・矯正施設
所在自治体会議総会開催
- ・地方再犯防止推進計画
策定状況
- ・更生保護施設
～再出発を支える人たち～
- ・検証！日本の治安はいいのか

きょうせいだよりってなに？



本誌は、地方公共団体や民間団体の皆さまに、法務省の再犯防止の取組や矯正施設のことなどを知ってもらいたいという思いを込めて配信するお便りです。日々の業務の合間に手に取ってご覧いただき、私たち矯正のことを少しでも身近な存在として感じていただけますと幸いです。

矯正施設所在自治体会議総会開催！



令和5年6月7日（水）、矯正施設が所在する全国112の市区町村のうち、100の自治体の首長を構成員とする**矯正施設所在自治体会議総会**が東京で開催されました。

本会議は、矯正施設が所在する自治体の首長が構成員となってネットワークを形成し、**積極的に地域における再犯防止施策等を推進**することを目的として、情報交換、調査研究等を行うために設立された**自治体主導の会議体**です。当日は、全国から32の自治体が出席し、国への政策提言、要望等を始め各種活動状況等について話し合われました。

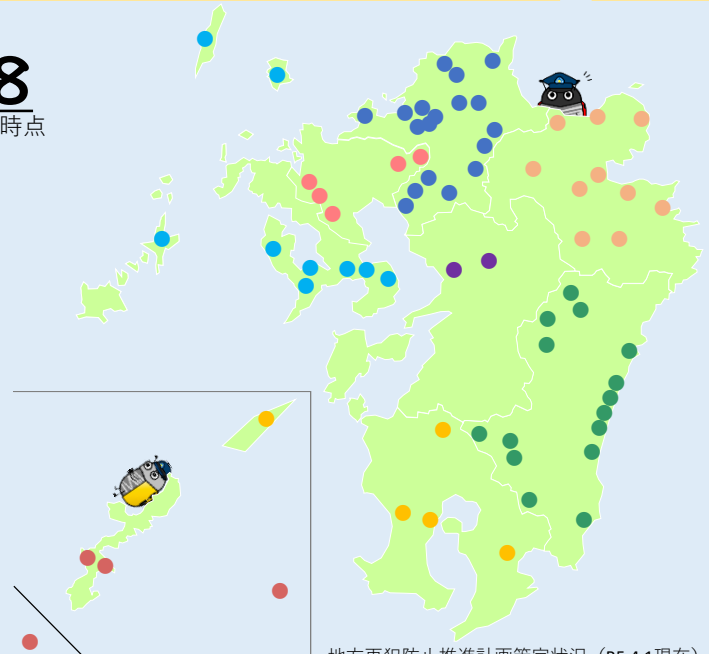
最新版 地方再犯防止推進計画策定状況

九州・沖縄地方策定市町村数 **37→68**

R4.4.1時点 R5.4.1時点

当課においては、各自治体さんが計画を策定するうえで、参考となる各種犯罪統計データをはじめ、矯正施設の取組説明や矯正施設見学の調整など御協力できることがございますので、**お気軽にご連絡ください！**

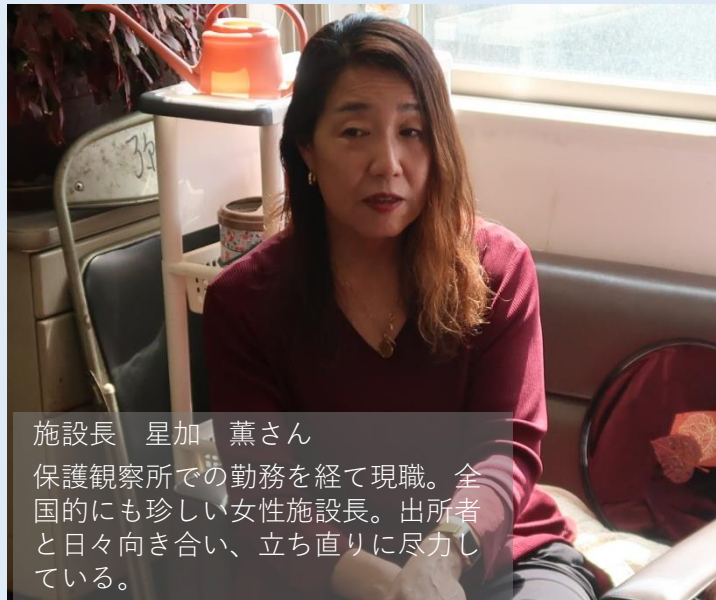
再犯防止推進法（平成28年12月施行）に基づき、地方自治体によって策定される**地方再犯防止推進計画**は、九州沖縄地方においては、**各県**に加え、**68の市町村**で策定済みとなっております。（本年4月1日時点）
犯罪や非行をした者が地域で生活していくための各種サービスの提供等日々御尽力いただきまして誠にありがとうございます。



地方再犯防止推進計画策定状況（R5.4.1現在）
※法務省調べ（自治体からの回答に基づく）

施設概要

福岡市内に所在する更生保護施設。行き場のない刑務所出所者等を受け入れ、宿泊場所や食事を提供するほか、生活指導や就労支援などを行い、再出発を支えている民間施設。



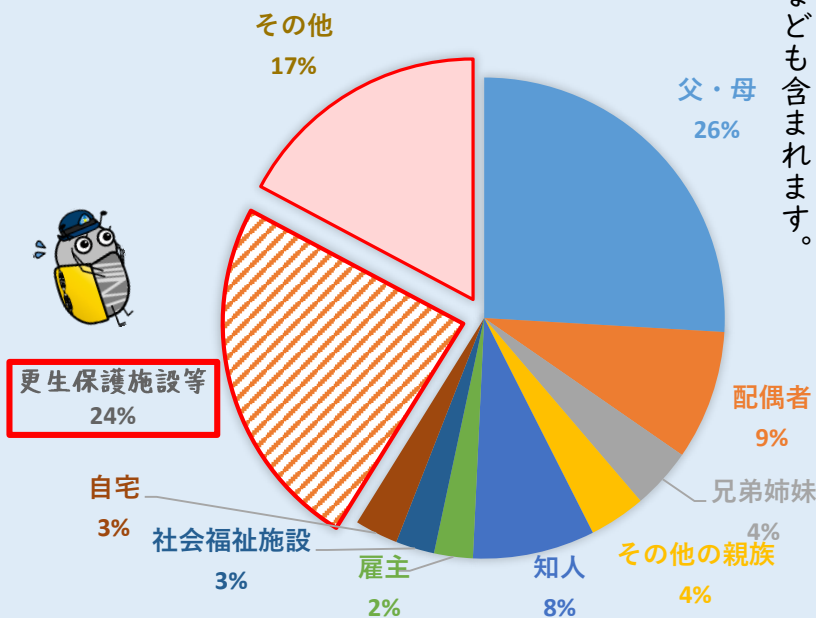
施設長 星加 薫さん

保護観察所での勤務を経て現職。全国的にも珍しい女性施設長。出所者と日々向き合い、立ち直りに尽力している。

更生保護施設 福岡弥生寮

更生保護施設～再出発を支える人たち～

令和3年出所受刑者の帰住先別構成比



出所受刑者総数：17,809名

(出展：令和4年版犯罪白書)

更生保護施設とは

行き場のない刑務所出所者等を一定期間受け入れ、宿泊場所や必要な支援を提供するなどして、円滑な社会復帰を助ける民間施設です。全国に103の施設があります。全国（九州・沖縄地方の施設数は17（福岡県内は7））対象者は、主に刑事施設の仮釈放者、満期釈放者、少年院出所者であり、その他にも刑の執行猶予を言い渡された人なども含まれます。

左のグラフは、令和3年の刑務所出所者の帰住先の内訳を示したものです。約24%の出所者が更生保護施設等に帰住しています。（注・自立準備ホームなどの更生保護施設以外の一時的な帰住施設を含む。）なお、その他（17%）については、帰住先が不明など、適当な帰住先がない出所者を示しており、合計すると約4割の出所者が行き場のない又は一時的な住まいで生活している状況です。

職員さんの声

この度、更生保護施設についてより詳しく知るべく、更生保護施設「福岡弥生寮」施設長の星加さんと支援員福田さんにお話を伺いました。

岡部：弥生寮の利用者さんと在所期間について教えていただけますか。

星加：定員20名で平均して17名程度寮生がいます。更生保護施設は利用できる期間が6か月と決まっておりますが、福岡弥生寮では満期が来ても、住むところや仕事、福祉施設や生活保護の手続きをしてから退寮させています。岡部：寮生はどのように決まるのでしょうか。

福田：受刑者等の身分帳（犯罪名や成育歴、受刑態度等がまとめられたもの）の確認や本人と直接面接を実施して決めていきます。基準としては、「更生し、自立していく意欲があるか。」を主に見ています。福田：退所するタイミングには目安があるのでしょうか。



支援員 福田 昭さん
現場リーダー。「再犯をしたら私の責任だと思っている。」と述べる厳しくも優しい人情派支援員。

星加…住居、仕事が決まるとともに、一定の貯金が出来たら退所するというのが一般的な流れです。お金については、金銭管理が苦手な人も多いため、寮退所後の生活に困らないように、施設で管理しています。

福田…お金がないことは再犯のリスクにつながることを考えると、貯金は大事なことで、寮生とは退所した後にもつながりはあるのでしょうか？

福田…弥生寮では退所した後も「訪問支援」という形で、元寮生の相談事を聞いたり、病院に同行したり、食事を持っていくたりなどして、つながりを保ち続けるように努めています。関わり続けることが再犯の抑止につながっているという実感がありますね。これまでの経験上、誰かが気にかけてくれていると再犯をしにくい傾向にあると思います。

岡部…孤立させないことが大切なんです。中には、退所後は関わってほしくないという人はいませんか？

星加…訪問支援については、退所する際に希望を取るのですが、ほぼ全ての寮生が訪問支援を希望しています。また、弥生寮に顔を見せに来る人も珍しくありません。土曜日の食事はカレーと決まっております。元寮生なら誰でも来ていいよということにしているため、元寮生が食べに来ます。

福田…信頼関係が構築されているのですね。

星加…まさに、信頼関係を築くことを大事にしています。寮生には「第二の実家やけんね。」と伝えており、困ったら助けを求められる関係性を築くことを心がけています。

福田…仕事の苦労や難しさについても教えてください。

福田…寮生を見ていると、再出発に向けた支援に対する恩を感じにくく、「裏切っているいけない」という気持ちがあるように思います。思いが伝わらないもどかしさは日々ありますが、それもこの仕事の一つのやりがいだと思っています。

岡部…難しさはあると思います。



すが、決して見捨てずに寄り添い続けているんですね。最後に、仕事に対するモットーを教えてください。

福田…私は再犯をしたら私の責任だと思っています。常に100点の支援を目指し、彼らと向き合っています。「あのときああしていれば・・・」ということもあり、日々反省ですが、これからも死ぬまでこの仕事を続けるつもりです。

星加…寮生は家族の温かさを知らない人が多いことから、「人間らしい生き方をさせてあげたい。」という思いを原動力に日々奮闘しています。弥生寮での生活を通して、今後再犯をしない思いを固めて、元気に生活して欲しいと思います。

福田・**岡部**…大変勉強になりました。本日はありがとうございました。

更生支援企画課長 福田 健悟

検証!!日本の治安は良いのか!?

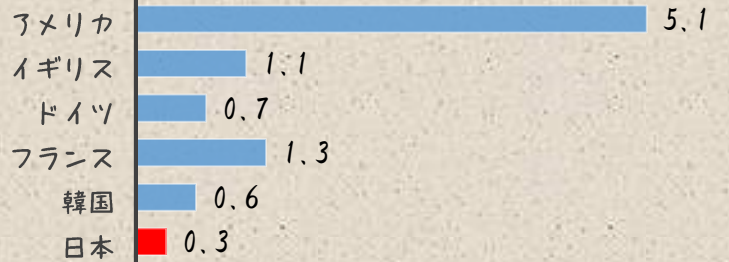


(出展：令和4年版犯罪白書)

殺人の発生件数(2019)



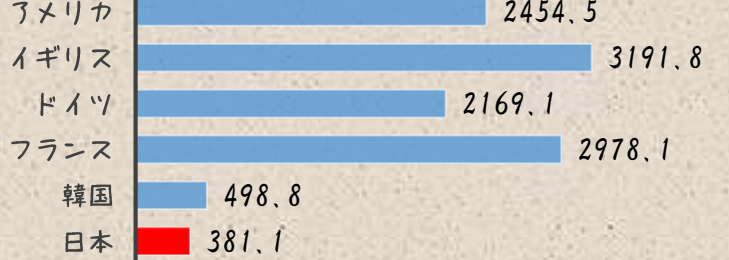
※殺人の発生率(2019)



窃盗の発生件数(2016)



※窃盗の発生率(2016)



諸外国の犯罪動向

令和4年3月に内閣府から公表された「治安に関する世論調査」においては、「現在の日本が、治安がよく、安全で安心して暮らせる国かどうか。」という問いに対し、「そう思う。」、「どちらかといえばそう思う。」との回答が約85%に達していた。

我々は、何となく、日本は治安が良い国であるとの自覚があると思うが、諸外国と比較して実際にどうなのか、具体的な統計データを紹介したい。

上記統計データは、令和4年版犯罪白書において掲載されている国連薬物・犯罪事務所が実施・公表しているデータである。各国の犯罪の定義、統計の取り方、精度等は同一ではないことから、あくまで、各国の犯罪動向の参考として見る必要があることは留意願いたい。

一つ目は「殺人」の発生件数であるが、日本は韓国に次いで少ない。突出して多いアメリカの50分の1である。殺

人の発生率（人口10万人当たりの発生件数）で見ると、日本は最も低く、人口を考慮しても諸外国と比較して、殺人の数は少ないことが分かる。

続いて、窃盗であるが、こちらも発生件数は韓国に次いで少なく、発生率で見ると、最も低い。今回グラフは省略したが、強盗及び性暴力についても本白書では、取り上げられており、強盗については、最も発生率の高いアメリカの約60分の1、性暴力については、最も発生率の高いイギリスの約50分の1という統計結果であった。

再犯防止の重要性

ごく限られた犯罪、国による比較ではあるが、我々が感じている治安の良さは、数値上も確認することができた。しかし、犯罪が少ないとは言え、犯罪は発生しており、そして、検挙者の約2人に1人は再犯者であるという課題が日本には存在している。被害者を生まない安心安全な社会のため、再犯防止が重要と

質問やご意見、取り上げてほしい事項などありましたら、当課までお気軽にご連絡ください。

お問合せ先

福岡矯正管区 更生支援企画課 福岡市東区若宮5丁目3番53号
TEL:092-661-1143 (直通) FAX:092-663-1001
MAIL:1.fukuokakyousei.9jf@i.moj.go.jp



大分 刑務所



所在地：大分県大分市



9
あなたの街の
矯正
施設
Vol.6

POINT

九州唯一のLA指標 刑務所

大分刑務所は、明治四年、大分市荷揚町（現在の大分県庁付近）に懲役場として設置されて以来、百五十二年の歴史があります。現在地（大分県大分市畑中）には、昭和三十四年に移転し、現在の建物は平成二十三年に完成したものです。収容の対象は、主として年齢二十六歳以上の男子で、**執行刑期十年未満の犯罪傾向が進んでいない者（A指標）、執行刑期十年以上の犯罪傾向が進んでいない者（LA指標）**、禁固受刑者（I指標）及び未決拘禁者です。全体の約四十九%がLA指標のため、高齢化が顕著であり、**六十歳以上の者は約二十四%**となっています。



年齢層に応じた指導



若年者から高齢者まで幅広く収容しているため、年齢を考慮した指導も実施しており、若年受刑者には、社会において習得すべき社会性などの醸成を図る「**若年受刑者指導**」、高齢受刑者に対しては基本的な生活能力、社会福祉制度に関する知識その他の社会適応に必要な基礎的な知識及び能力を身に付けさせるための「**社会復帰支援指導**」を行っています。また、「社会復帰支援指導」の対象者には、身寄りのない者が多いため、福祉専門官が中心となり、自治体等と調整して、帰住先の確保等、円滑な社会復帰につなげられるように努めています。

VOICE

現場職員の声 —福祉専門官—

私は福祉専門官として採用されてから、**高齢又は障害を有する者の福祉的支援**に当たってきましたが、その中で、印象的なエピソードがあります。それは、**高齢の長期刑受刑者と面接**を行った際、認



知症のある親の介護に疲れ、殺害したことに
対し、自責の念や社会への絶望感から、「**出所後は自殺することを決めている**。」という
話を聞いたところから始まりました。その受
刑者は、長年の受刑生活の中で自殺の意思を
強固にし、計画を立てているとして、出所後
の生活に関する話を一切拒絶する状況にあり
ました。人道的、社会的問題をもはらむ課題
を前に苦悩しましたが、本人に対して一人の
人間として関心を向け、本人の人生について
の話を深め、読書など本人が関心を示す事柄
についての意見交換を行い、根気強く面接を
繰り返した結果、最終的に出所後の帰住先支
援につながりました。**何らかの障害、悲惨な
人生に対する絶望、社会での孤立等が要因と
なって犯罪に及び、受刑する者も多数いる刑
務所において、その人生に寄り添い、社会に
つなげる支援を行うことが、社会の安全への
貢献となる**というこの業務は、私にとって、
この上なく意義深く、幸せな仕事であると感
じています。